

# 総合整備計画書

かみにいやま

長野県伊那市 上新山辺地

辺地の人口 342 人： 面積 9.3K m<sup>2</sup>

## 1. 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 上新山
- (2) 地域の中心の位置 伊那市富県 2449 番地 1
- (3) 辺地度点数 115 点

## 2. 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、伊那市の東に位置し、三方を山に囲まれた標高 600～1000 メートルの丘陵地に清らかな新山川が流れ、水と緑に囲まれた日本の原風景ともいえる自然が息づく山あいの集落です。本市では、2014 年度（平成 26 年度）に本辺地を含む新山地区を「田舎暮らしモデル地域」の第 1 号として指定しました。また、県内に 4 地区ある「移住者の受け込み支援に積極的に取り組むモデル地区」の一つとして、長野県の指定を受けています。

本辺地に隣接した北新区に立地する新山保育園は、入園希望者の減少により 2009 年度（平成 21 年度）から休園していましたが、定住促進のための地域活動の成果が現れてきており、2014 年度（平成 26 年度）に富県保育園の分園として再開しました。しかし、現在の建物は、1963 年度（昭和 38 年度）に建設され 55 年が経過した非耐震構造の施設であり、施設の老朽化が深刻な課題となっており、新たな園舎の整備が必要です。それに併せて、給食を一つの施設で調理するといった施設の合理的な運用を行うため、小学校の給食調理も行う共同給食調理場の整備を行います。小学校へ給食を配送する車両の整備も必要です。

また、新山小学童クラブは、当初新山保育園内の一室を使用し、2014 年度（平成 26 年度）に開設しましたが 2016 年度（平成 28 年度）に園児の増加のため、地区集落センターへ移転しました。しかし、学校からの距離があるばかりでなく、地区集落センターは土砂災害危険区域に指定されており、児童の安全対策を講じる必要があることや、放課後子ども教室（学習支援）事業と放課後児童クラブ（学童クラブ）事業を同一施設内において実施することなどから、通所児童の安全面や衛生面等の向上を図るため、整備を行う必要があります。

本辺地には、体験交流施設「ふるさと体験館」や、46 種類のトンボが飛び交う「トンボの楽園」など、恵まれた自然条件を活かした観光資源が多く点在していますが、新築時の仕様が時代に合わなくなってきたことや施設の老朽化等の理由から、十分に活用できていない状況があります。地域住民による活発な移住・定住促進の活動が展開され

ている本辺地においては、来訪者や移住希望者と地域住民との交流を深めるため、時代のニーズに沿った新しい付加価値を有する体験交流施設の整備を行う必要があります。

さらに、体験交流施設周辺の市道は、狭く、屈曲した箇所が多く、路面の整備も遅れていることから、地域住民の安全で安心な生活環境や来訪者の利便性を図るため、計画的に道路環境を整備していく必要があります。

### 3. 公共的施設の整備計画

2019年度（令和元年度）から2023年度（令和5年度）まで5年間

（単位：千円）

施設名	区分 事業 主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
新山保育園 建設事業	伊那市	537,900	256,000	281,900	135,900
新山給食配 送車両整備 事業	伊那市	8,000		8,000	4,000
新山小学童 クラブ整備 事業	伊那市	46,000	26,000	20,000	11,400
ふるさと体 験館改修事 業	伊那市	6,000		6,000	6,000
トンボの楽 園環境整備 事業	伊那市	3,000		3,000	3,000
道路改良事 業（市道西 の平和手線 ほか）	伊那市	76,800		76,800	76,800
合 計		677,700	282,000	395,700	237,100